

目標達成計画

作成日：平成30年1月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流は少しずつだができているが、中学校の職場体験などおこなっておらず交流もできていない。	職場体験等を積極的に実施しホームの利用者との交流やグループホームでどのような生活を送っているのかを理解してもらう。	昨年の12月に中学校から職場体験の依頼があり6月に体験に来て頂くことになった。これを機会に今後も毎年学校に依頼していく。	6ヶ月
2	35	年2回の避難訓練及びホーム独自の訓練を行っているが、災害(地震の想定)した訓練をおこなっていない。また、非常食等も職員が試食するのみとなっており利用者の試食等が実施できていない。	地震や水害に備えた訓練を実施する。非常食の試食も利用者と一緒にこなう。また、非常食以外にも備蓄品を多く備える。	3月の消防署の避難訓練の際に、災害時の訓練方法等を学び、また、地域の防災訓練に必ず参加し自主訓練に繋げていく。非常食の試食の実施及び備蓄品の見直しをする。	12ヶ月
3	26	介護計画の見直しの時期が近づくと家族には要望等を聞いているが、実際には担当者会議等は職員のみで行われている。	家族に担当者会議出席の呼びかけを行い、意見交換の場を作り交流の機会を多く作っていく。	介護計画の見直しの時期には家族に出来るだけ出席して頂けるように家族の都合を優先していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。